

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.08.27-08.31

記事の詳細は、情報検索サービス『キジシク』でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月27日(月)

日立プラント、空気圧縮機合併  
上海漢鐘機と来年初

日立プラントテクノロジーは、2013年1月に中国でエアコンプレッサー（空気圧縮機）事業の合併会社を設立する。現地圧縮機メーカーの上海漢鐘精機股份有限公司との合併。（8面）

E V向け温度ヒューズ増産  
タムラサーマル/年3000万个

タムラサーマルデバイスは、2012年度中に、温度ヒューズの生産量を約50%増の年3000万个超に引き上げる。中国の工場に自動化設備を導入。電気自動車（E V）向けに需要が拡大。（9面）

8月28日(火)

J R貨物、国際複合物流を開始  
国内貨物駅＝中国・太倉港

J R貨物は、上海下関フェリー（下関港＝中国・太倉港）と接続したJ R122コンテナの国際複合―貫輸送サービスを始めた。国内各貨物駅から鉄道、トラック、海上輸送を組み合わせる。（17面）

野村A M、投資枠を追加取得  
中国証券市場

野村アセットマネジメント（A M）は、中国国家外貨管理局から適格外国機関投資家（Q F I I）制度に基づく中国証券市場への投資枠を追加取得した。今回

女性が8 - 9割を占めるV S Mジャパンマニュファクチャリングのベトナム工場



の取得は2回目の投資枠。（19面）

上海で表面処理事業  
ワイピーシステム/アルマイト処理

ワイピーシステムは、中国で表面処理事業に乗り出す。上海市の現地パートナー企業と合併会社を設立。上海のメッキ工業団地で、2013年1月にアルミニウムのアルマイト処理を始める。（23面）

8月29日(水)

特殊発條、国内に7割移管  
中国で生産の車向けバネ座金

特殊発條興業は、自動車向けバネ座金の生産体制を見直す。全量を中国で生産しているが、数年内に6 - 7割を国内に移管する。拠点の分散化で災害などのリスクを軽減するのが主目的。（1面）

マツダ、中国に開発拠点  
長安汽車と合併/低燃費車

マツダは、長安汽車集団と合併で中国に研究開発拠点を2013年にも開設する。中国政府が技術移転を求める低燃費車を設立する。慢性病の管理などに役立つセンサーなど健康機器の開発と技術指導サービスを行う。（9面）

中国語圏の現地社員教育に活用  
日本ユニシス/プラットフォーム

日本ユニシスは、企業向け教育ブラッ

トフォーム「ラーニングキャスト」の機能を強化した。日本語、英語に加えて中国語の簡体字と繁体字に対応、中国語圏の現地社員教育などに活用。（10面）

ドコモ、中国製スマホ投入  
5秒で起動/ファウエイ製

N T T ドコモは、スマートフォンやタブレット端末など新型5機種を発売する。電源を入れ5秒で起動する中国のファウエイ製スマートフォンを10月以降に投入する。中国製端末は初。（10面）

武田薬品、中国で3割成長  
新興国に成長の軸

武田薬品工業は、中国、ロシア・独立国家共同体（C I S）、ブラジルを成長の軸に定めて事業強化する。中国は1216年度の年平均成長率を約3割に定める。人材面などの投資を継続。（11面）

「丸亀製麺」など100店出店  
トリドール/現地著名起業家とタッグ

トリドールは、中国での出店を加速するため、現地著名起業家の季琦氏と合併事業を始める。李氏の発力やノウハウを活用、うどん専門店「丸亀製麺」など飲食店100店舗の出店を目指す。（14面）

廃車リサイクル工場が完成  
C R S 埼玉/来月稼働

C R S 埼玉は、江蘇省長家港市に廃車リサイクル工場「C A P A（長家港）資源再生」を9月に稼働させる。総投資16億円。急増する中国国内の廃車リサイクル需要を取り込むのが狙い。（25面）

8月30日(木)

シームレス鋼管、中国の結論は  
アンチダンピング/日本やきもき

日本製などのステンレス・シームレス

パイプの輸出に、中国がアンチダンピング措置を検討。審査締め切り（9月8日）が迫り、高級鋼管メーカー、経済産業省など日本側は神経をとがらせる。（12面）

8月31日(金)

医薬品の対中輸出有望  
中国の高齢化で潜在需要

中国の高齢化で、これからも日本企業による医薬品や高齢者用商品の対中国輸出は増加を見込め、サービス業の投資拡大の潜在力も秘めている。日中両政府の研究所が報告書をまとめた。（2面）

海天H D、射出成形機の新工場  
全電動機70%増、年4000台

中国・海天国際ホールディングスは、寧波に射出成形機の新工場を建設する。全電動機の生産能力を約70%増やし、年4000台に。油圧とモーターのハイブリッド機も年3500台生産する。（8面）

リオン、上海を現法化  
計測機/調整・校正を充実

リオンは、中国で音響・振動計測機器を拡販するため、2012年度中に上海市の駐在員事務所を現地法人化する。計測機器を直接販売し、調整や校正サービスを充実させる。（9面）

日新電機、中国子会社を清算  
リアクトル/油式への転換伸びず

日新電機は、中国の電力会社向けに送電圧調整機器の油入分路リアクトルを製造販売する連結子会社清算する。従来の乾式から油式への転換が伸びず、競合激化や価格の大幅下落が響いた。（9面）

サイバネット、C A E 開拓  
F P D 向け

サイバネットシステムは、中国で照明設計用の米社製C A Eソフトを拡販。15

ASIA

電子部品各社のベトナム進出状況	
京セラ	京セラベトナム（フインエン省）と京セラドキュメントテクノロジーベトナム（ハイフォン市）を建設中。今期に合計100億円を投資予定
日本電産	2013年1月にベトナム日本電産セイミツ（ホーチミン市）が稼働。携帯電話用小型精密モーターを生産。グループとして11社目の進出
新電元工業	昨年10月にフインエン省の拠点を稼働。2輪車用充電装置などを生産
東 光	ダナン工場で増産投資。自動化設備を導入し、12月末に超小型コイルの生産量を月1.8個へ
N E C トーキン	N E C トーキンエレクトロニクス・ベトナム（ドンナイ省）でノイズ防止部品、インダクター、各種センサーを生産

8月27日(月)

電子部品 - ベトナムに積極投資  
インフラ整備進む

電子部品各社が、ベトナムへの投資を積極化。中国での一極生産のリスクが指摘、インフラ整備の進展で、家電メーカーの進出が相次ぐベトナムを第2の製造拠点として位置づけている。（3面）

ヤマハ発、ヤンゴンに事務所  
2輪車3倍1300台/現地生産せず

ヤマハ発動機は、ミャンマー・ヤンゴン市に駐在員事務所を8月中に開設する。2輪車販売店の業務支援や市場調査。2輪車販売は約3倍の1300台を目指す。現地生産は当面しない。（7面）

野村総研、アジア統括会社増強  
韓・台など9拠点を傘下に

野村総合研究所は、アジア拠点を再編する。韓国と台湾、フィリピンにあるN R I の各支店を、東南アジアの統括会社の傘下に移す。自社を含めてアジアの9拠点を統括することになる。（10面）

ベトナムに電気温水器を投入  
L I X I L / 現地仕様で開拓

L I X I L が、ベトナムの電気温水器市場に参入した。現地では生活水準の向上で電気温水器をシャワーに利用する層が増えている。高品質製品を現地仕様で需要を開拓する。（13面）

8月28日(火)

人事評価に世界基準  
大和証券/日米欧アで交流促進

大和証券はグローバル戦略の強化に向けて、欧州、米国、アジア、日本の各拠点の人事評価基準を統一する。拠点間の人事交流を活発化。また海外から経営幹部を起用する客観的な指標に。（1面）

ベトナムの水事業で連携  
J I C A と川崎市

国際協力機構は、川崎市と発展途上国の水環境改善に向けた官民連携の覚書を結んだ。川崎市が2月に環境協定を交わしたベトナムのダナン市などアジアでの水事業に連携して取り組む。（3面）

丸順、タイ新工場  
ホンダ増産/洪水リスク対応

丸順は、タイ・サラブリー県に新工場を建設する。2013年12月完成予定主要取引先のホンダなどの需要増に対応するとともに、タイの洪水リスクに備える。約30億円投資。（5面）

ホーチキ、新興国に照準  
台湾に営業所/インドなどに駐在員

ホーチキは、主力の火災報知器でアジアや南米の新興国進出を加速。台湾に営業所を開設。駐在員事務所をインドに開設、タイ、インドネシアに9月にも新設。豪州とメキシコは現地法人。（8面）

ノリタケ、2製品製販を一体化  
タイ/研削工具・石こう

ノリタケカンパニーリミテドは、タイでの営業体制を再編する。販売会社と製造会社を分けていたが、研削工具と石こうの2製品ごとに製販を一体化し、営業の効率化を図る。（8面）

東芝機械、インド社買収  
射出成形機/自動車向け開拓

東芝機械は、インドの建設・重機大手ラーセン・アンド・トップロ子会社の射出成形機メーカーを買収する。自動車向け中心に開拓。生産拠点を設けるのは日本の射出成形機メーカーで初。（8面）

L E D 照明、アジア・欧州開拓  
遠藤照明/マニラ・上海などに拠点

遠藤照明は、L E D 照明の海外売上高を2014年3月期に8倍の100億円に引き上げる。アジアや欧州に営業拠点を新設する。フィリピン・マニラに営業拠点。上海市とシンガポールにも。（10面）

サムスン、A S M L に出資  
次世代の半導体製造装置の開発参画

A S M L は、韓国サムスン電子の出資を受け入れることで合意した。サムスンは総額7億7900万計を投じ、A S M L が進めている次世代の半導体製造装置の開発プログラムに参加する。（10面）

シンガポール・ロシアに現法  
G M O クラウド/ホスティング開拓

G M O クラウドは、シンガポールとロシアに現地法人を設立する。シンガポール法人は100%出資子会社として9月設立。アジア太平洋地域でのホスティングサービス開拓や販売強化。（11面）

イトーキ、アジアに軸足  
オフィス家具/代理店展開加速

イトーキは、インドを含めたアジアに軸足を置き、代理店展開によりオフィス家具の販売網を広げ、3年間で倍増させる。2015年度に海外事業売上高80億円を目指す。（17面）

日本の展示会場 - 慢性不足  
アジアは巨大展示場を建設

展示会ビジネスが世界大競争時代に突入している。アジア諸国は巨大な展示会場を建設。一方、慢性的な会場不足で「展示場発展途上国」の日本は機会損失を招いている。（深層断面＝32面）

		国名	面積
展示会場面積のアジアランキング	1	広州(海珠区)	中国 39.0
	2	義烏	中国 24.0
	3	上海(浦東新区)	中国 20.0
	4	広州(流花路)	中国 17.0
	5	バンコク	タイ 14.0
	6	成都	中国 12.0
	7	ソウル	韓国 10.8
	8	北京	中国 10.6
	9	瀋陽	中国 10.6
	10	深圳	中国 10.5
	11	東莞	中国 10.0
	12	シンガポール	シンガポール 10.0
	13	香港	中国 9.1
	14	南京	中国 8.9
	15	上海(浦東新区)	中国 8.1
	16	東京(ビッグサイト)	日本 8.0
単位：万平方メートル。リードエグジビションジャパンの資料より			

8月29日(水)

マレーシアL N G と契約更新  
東京ガス/90万トンの10年間

東京ガスは、マレーシアの国営会社と2015年3月末で契約満了となる液化天然ガスの売買契約を更新する。マレーシアL N G から、年90万トンのL N G を10年間購入することで基本合意した。（3面）

ジャカルタに事務所  
テクノアソシエ/日系に部品供給

テクノアソシエは、インドネシアの南ジャカルタ市に駐在員事務所を11月上旬をめどに開設する。2輪車・4輪車市場で高いシェアを持つ日系進出企業の部品需要に応える。（11面）

アジア現地通貨建て債券で投信  
みずほ投信投資顧問

みずほ投信投資顧問は、日本を除くアジア各国・地域の政府、政府機関、国際機関、企業が発行する現地通貨建ての債券を主要な投資対象とする追加型投資信託の運用を9月27日始める。（19面）

カンボジア最大手行と提携  
中小企業取引に強み/三井住友銀行

三井住友銀行は、カンボジアで最大手の民間銀行であるアクレダバンクと、同国での協業について業務提携。アクレダは個人小口金融や中小企業取引に強みを持つ。同国最大の234拠点を。（19面）

8月30日(木)

出光、東南アでバイオ燃料  
ベトナムは油脂植物から

出光興産は、東南アジアでバイオ燃料の製造・販売する。ベトナムではペトロ

インドネシア2輪増産、先送り  
ローン頭金の規制で需要急減

ヤマハ発動機は、2012年中を予定していたインドネシアでの2輪車生産能力の増強を2014年まで先送りする。6月に現地で始まったローン頭金の規制で需要が急減しているため。（7面）

ホンダ、ミャンマーに事務所  
現地企業と代理店契約

ホンダは、ミャンマーのヤンゴン市に駐在員事務所を開設する。年内に現地企業と代理店契約。2輪車の輸入販売を始める。ホンダは同国で4輪・2輪車、汎用製品を販売していない。（7面）

シンガポール地下鉄を受注  
132両177億円/川重

川崎重工業は、中国の南車青島四方機車車両と共同でシンガポール政府から地下鉄車両を受注。177億円。規模は132両（22編成）。川重がプロジェクト統括、設計、台車と主要機器の供給。（8面）



シンガポール地下鉄車両  
(完成予想図＝川重)

横河電機、韓国企業から受注  
ベトナムの火力発電制御システム

横河電機は、韓国プラントメーカー・斗山重工業から、ベトナムの石炭火力発電所向け制御システムを受注した。新興国の電力市場に注力する韓国のプラントメーカーからの受注を拡大。（8面）

「787」エンジン部品を受注  
マレーシアで生産/今井航空機器

今井航空機器工業は、米グッドリッチから米ボーイングの中型機「787」向けエンジン部品を受注した。マレーシアの生産子会社で機械加工から表面処理、塗装まで一貫して手がける。（9面）

液晶T V、鴻海との協力を拡大  
シャープ/堺工場を増強

台湾・鴻海精密工業グループとシャープは、液晶テレビ事業の協力関係を拡大する。堺ディスプレイプロダクトを海外で上場し、3 - 4年後に大型液晶パネルの堺工場の生産能力を増強。（10面）

「脱サムスン」路線に転換  
アップルの部品戦略

米アップルと韓国サムスン電子が、世界中で繰り広げる特許侵害訴訟が部品業界にも波紋を広げている。アップルの強硬姿勢を通じて「脱サムスン」の部品戦略が見えてくる。（10面）

アジアに開発拠点  
ジャステック/欧米企業向け

ジャステックは、アジアに開発拠点を

設置する。国内に比べ開発コストを抑えられる。優秀な人材を確保し易い。高品質の情報システム開発につなげ、欧米企業向けに売り込む。（11面）

マンダム、容器を自社生産  
男性用整髪料/年400万个

マンダムは、男性用整髪料「ムービンググラバー」用容器の自社製造を年内にも始める。インドネシアのチビトン工場専用ライン。全体の3分の1にあたる年間約400万个を自社生産する。（16面）

アジア太平洋で国内線運賃上昇  
4月/印・豪大幅値上がり

アジア太平洋地域内の国内路線航空運賃（4月）が、他の路線に比べて大きく値上がりした。地域全体で5%上昇。インドと豪州の国内運賃が大幅上昇。日本旅行など調べ。（16面）

8月31日(金)

16カ国で経済連携交渉  
日中韓などアジア・太平洋地域

A S E A N 加盟国と日本、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランドの16カ国は、カンボジアで経済相会合を開き、アジア・太平洋地域の広域的なF T A の交渉開始の年内宣言で合意。（2面）

ベトナム - スト多発・高離職率  
入社時の面接が大事

今夏に労働ストライキが多発したベトナム。ストに加えて離職率の高さが労務管理上の課題と言われている。ベトナム日本人協力センターは「入社時の面接が大事」とアドバイス。（3面）

G S ユアサ、タイで鉛蓄電池  
「ミラージュ」に採用

G S ユアサは、タイ子会社で新車向けにアイドリングストップ車用鉛蓄電池の生産を始めた。三菱自動車現地で生産を始めた小型乗用車「ミラージュ」に採用された。（5面）

東海理化、インドネシア新工場  
シートベルト/トヨタに供給

東海理化は、インドネシア・タンゲラン県にシートベルト工場を設置、2013年4月稼働。トヨタ自動車の工場に供給。現地供給でコスト競争力を高める。東海理化は同国2カ所目の工場。（5面）

I H I、タイの空港に納入  
大型ガスタービン発電

I H I は、タイ・スワンブーム国際空港向けに大型ガスタービン発電設備（出力4万<sup>キロワット</sup>）2基を納入した。電力や冷房用の熱エネルギーを供給する。6年間の長期メンテナンスも契約。（8面）

井関農機、インドネシア合併  
トラクターなど年1万台

井関農機は、インドネシアに現地メーカー・ルタンとの合併会社「P T I S E K I Indonesia」を10月に設立する。トラクターなどを年1万台生産する工場を稼働させる計画。（8面）

オカモト、ベトナム進出  
デジカメ・医療機器部品/日系向け

オカモトは、ベトナム・ハノイ市のク

今回は -  
10日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は17日(月)に掲載します。

人規模の専門営業チームを立ち上げる。フラットパネルディスプレイ市場を開拓。北京の営業拠点を活用。（10面）

香港でパッケージ基盤材を量産  
ハイエンド半導体/日立化成

日立化成工業は、香港でハイエンド半導体パッケージ基盤用材料の量産を2013年初頭始める。現行品に加え、スマートフォンなどに採用が見込まれる新材料も生産。下館事業所と2極体制。（12面）

ひと



「心」がわかる  
神戸製鋼所で産業機械や圧縮機を手がける機械事業部門。部門長で専務の榎本一秀さんは、圧縮機では中国、タイや・ゴム機械ではインドと合併会社。「日本はアジアの中にいて心」がわかる。地の利、文化の利を生かして中国や東南アジアで手を打つ。（27日＝8面）

中国人の来場が出展を左右  
「国内展示会でも中国人の来場が出展判断を左右」と日本技術者連盟専務理事の井戸田勲さん。出展者も「大口顧客」中国の動向をうかがう。日本の高度技術を注視、技術動向サイト「ウェブナレッジエキスポ」でも「中国企業からのニーズ要請型の投稿が急増」。（29日＝8面）

中国の来場が出展を左右  
「国内展示会でも中国人の来場が出展判断を左右」と日本技術者連盟専務理事の井戸田勲さん。出展者も「大口顧客」中国の動向をうかがう。日本の高度技術を注視、技術動向サイト「ウェブナレッジエキスポ」でも「中国企業からのニーズ要請型の投稿が急増」。（29日＝8面）

新東工業、インドネシアに現法  
鋳造設備・表面処理装置

新東工業は、インドネシア・プラシ県に現地法人を設立。自動車や電機業界などを対象に、鋳造設備や表面処理装置、消耗品などを供給する。アフターサービスを充実する。（9面）

台湾で半導体向け研磨材生産  
富士フイルム/B C P 対策

富士フイルムは、台湾の子会社で半導体製造プロセス用のC M P スラリー（化学的機械研磨材料）の商業生産を始めた。台湾の半導体産業を取り込むとともに、B C P 対策に。（12面）

三井化学、シンガポールに新設  
エラストマー/年8000トン

三井化学は、シンガポールで食品包装材料などに使う高機能エラストマーの特殊銘柄設備を新設した。新設備の年産能力は8000トン。タフマーは耐衝撃性に優れ、自動車のバンパー向け。（12面）

インド社製S U V に採用  
サウジアラビア基礎産業公社

サウジアラビア基礎産業公社は、ボリアミドと変性ポリフェニレンエーテルのアロイ樹脂原料がインドの自動車メーカー・マヒンドラ＆マヒンドラのS U V の樹脂製フェンダーに採用。（12面）

フィリピン火力発電に出資  
豊田通商

豊田通商は、フィリピンの火力発電所プロジェクトに参加する。現地事業運営会社のサラングニ・エナジーに25%出資することで、サラングニの親会社と近く最終合意。（13面）

印の無農薬コットンプロ承認  
5000トン/伊藤忠商事とクルック

伊藤忠商事とクルックの共同事業でインドの綿農家のオーガニック（無農薬）栽培移行を支援するプログラムが、国連開発計画に承認された。1シーズン5000トンに拡大を目指す。（15面）

比でモノづくり精神を教育  
東洋大学・埼玉県/日系向け育成

東洋大学は埼玉県と、フィリピンで日本のモノづくり精神を教育する人材育成プロジェクトを始める。現地の日系企業が雇用しやすい外国人従業員の育成。東洋大への留学生の確保を狙う。（25面）

ひと



「オールジャパン」の取所を一から創り上げる。大阪証券取引所社長の大田道生さん。紀元前の米田道生が古代オリエント文化との融合により発展したことを例に挙げ、東西の取所が持ってきた企業文化を融合し「アジア・ナンパワ」の取所を目指す。（28日＝19面）